

## 緑の相談コーナーだより

NO. 334 2013. 4 . 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

### 身近な樹木 “ボケ” (木瓜)

#### ～陽春の頃はっとするほど濃艶な印象の花木～

バラ科のボケは、中国中部原産で、日本には古く平安時代に渡来し、広く庭木として植えられています。九州などでは野生化しているものもあります。比較的耐寒性があり、北海道では5月に葉に先立って開花し、まだ花の少ない時期、暖かい春を迎えた喜びを印象づけるかのように、枝いっぱいに蕾をほころばせます。

観賞用の落葉低木であるボケは、高さが2mほどになり、茎にはトゲ状の小枝が生えます。花卉は5枚で、緋色のヒボケと呼ばれるものや、白いシロボケ、白と淡紅色に咲き分けるサラサボケなどがあります。また、花には雄花と雌花の2種があり、見分け方は、雄花では下位子房がやせているのに対し、雌花では肥厚しています。なお、古くから園芸用や盆栽用に栽培されているため、母種が不明の品種も数多く、枝や刺がねじ曲がり淡紅色の花の香篆木瓜こうてんぼけや、花が大輪で枝が横に伸びる淀木瓜よどぼけと呼ばれるものなどさまざまな種類があります。

ボケの名の由来ですが、漢名の「木瓜」ぼくかに基づくもので、これから転訛したものといわれます。しかし、本来の木瓜はマボケであり、葉が細く果実も大きいボケとは別種の樹木です。でも、古くから日本では本種を木瓜と思っていたのでこの名で呼ばれたといわれます。因みにボケの漢名は「貼梗海棠」です。なお、別の説として、「毛介」もけい、「母計」ぼけいがなまったものともいわれます。

ボケの用途ですが、一般の草木よりも手間がかからず、花のつきも良いため、広く庭木など観賞用として用いられ、初心者用の鉢ものとして最適とされます。しかし盆栽としては難しいものがあります。園芸用に用いられる品種を2～3紹介すると、代表的なものとして東洋錦(トウヨウニシキ)があります。これは、同じ株に紅色、白、



ボケ (モケ)

*Choenomeles speciosa* (Sweet)

白地に紅縦紋、白地に紅吹きかけなど、変化に富んだ花が咲き、樹勢も強健なことから、庭木や公園樹のほか、鉢植え、盆栽、切り花としても人気です。また、緋御旗（ヒノミハタ）は濃緋紅色の花をつけ、刺が多く強健なことから、生け垣として多く用いられる品種です。矮性でほふく性のある越の誉（コシノホマレ）は10弁ほどの八重咲き種で、花の色は鮮紅色、まれに一重のものもありますが、四季咲き性が特徴で、暖地では9月頃から翌年の4月頃まで開花します。

初旅や木瓜もうれしき物の数

正岡子規

土近くまでひしひしと木瓜の花

高浜虚子



## 公園だより

### バラ園

全道的に大雪となった今年の冬は、3月に入っても衰えることなく、上旬には猛吹雪による痛ましい事故も起き、交通障害にはうんざりする日が続きました。そんな中で、岩見沢でも除排雪に追われる日が続き、どうなることかと心配しましたが、昨年よりは少し被害が少なく、4月を迎えることができたようです。今では、バラ園のバラ達も、融雪が進んで目を覚まし、若芽が輝きを増してきました。今月は雪が消えて、ハマナスの丘にはフキノトウが顔を出し、下旬にはヒバリが空高くさえざることでしょう。そして、生け垣のレンギョウが黄金色の花を咲かせ、岩見沢市の樹木であるキタコブシが、蕾をふくらませる日が近づいてきました。

♥ **今月のバラ園からの一口メモ**は、植え付けの基本についてです。本州と違って北海道では、雪解けとともに一齐にバラの手入れが始まります。植え付け作業も本道では、春に行うのが普通です。時期的には、岩見沢近辺では5月20日頃までには終わらせたいものです。この時の苗木ですが、初心者には大苗がお勧めです。大苗とは、専門家が畑で2年間しっかり育てた苗のことで、台木との接ぎ口もしっかりしているので扱いやすいのが特徴です。これに対して、前年の秋から冬にかけて台木に接がれた新苗がビニールポットなどに入って売られていますが、大苗に比べて生まれてから日が浅い苗ですから、取り扱いには丁寧にする必要があります。植える場所は、日当たりと風通しの良い場所で、午前中に3～4時間日の当たる所が適しています。

**色彩館**では、緑の芝生が春の日差しに輝きを増してきました。ヒメツバキやクリスマスローズも咲いて、壁面のオールドローズではスーヴニール・ドゥ・ラ・マルメゾンが淡いピンクの花を咲かせ、ハナミズキの花も今暫く楽しんで頂けると思います。

**南国温室**では、レモンやミカン類が、色づいた実とともに花も咲いています。ストレリチア（極楽鳥花）やアナナスなどの花々も咲き、ここは南国です。

# 相 談 日 記

**問** 家庭菜園作りを楽しんでいますが、野菜や食用の植物には、できるだけ農薬を使わずに栽培できないものか考えています。植える植物の組み合わせや混植栽培によっても、病害虫を防いだり、生育を良くすることができるかと聞いたことがあります。本当でしょうか？そのような方法があれば知りたいのですが！

**答** 種類の異なる植物同士を近くに植えることによって、病害虫の発生を防いだり、生育を良くしたり、風味を増すなど、互いに良い影響を及ぼしあう植物のことを共栄植物（コンパニオンプランツ）といいます。この方法は「野菜やハーブといった食用植物にはできるだけ農薬を使いたくない」といった思いから、古くから取り入れられてきました。これは長い間の経験と観察の積み重ねによって伝えられてきたもので、いわば民間療法のようなものです。市販の農薬のような効果は期待できませんが、農薬の負荷を軽減する方法として、近年も共栄作物による栽培が試みられています。

例えば、アブラナ科の野菜はアオムシ（モンシロチョウの幼虫）やヨトウムシ（ヨトウガの幼虫）、コナガの幼虫などが好んで食べ、ニンジンにはアゲハチョウの幼虫が好んで食害します。しかし、昆虫にも好みがあって、アブラナ科の植物は食害しても、キク科やシソ科の野菜は食害できないといった性質があります。そこで、アブラナ科の野菜類とレタス、サニーレタス、サンチュ、シュンギクなどキク科の植物を混植すると、忌避効果により、食害昆虫の産卵行為を減らすことができるという分けです。

**共栄植物（コンパニオンプランツ）栽培の事例** 以下に組み合わせ植物の例を少し紹介しますので試してみたいかどうかをお願いします。

## 1 相性の良い組み合わせ事例

育てようとする野菜	組み合わせる植物	効 果
キュウリ	長ネギ	土壌病害を防ぎ、生育を促進
	マリーゴールド	セン虫を退治し、土を活性化
トマト	マリーゴールド	病害虫を防ぎ、生育を促進
	セージ	風味が増す。
ナス	チャイブ	アオガレ病を防ぐ
ダイコン	マリーゴールド	病害虫を防ぐ。生育促進
ニンジン	エンドウマメ	害虫を防ぐ。生育促進

## アダムとイブに降る雪が変化した花～スノードロップ 花言葉 希望



スノードロップは、ヒガンバナ科ガランサス属のヨーロッパ原産の球根植物です。その名のとおり、花は白色で、北国では雪解けとともに花を咲かせます。昭和初期に日本に渡来し、鉢植えや庭植え、ロックガーデンで栽培されてきました。耐寒性が強く北海道の露地でも越冬します。地植えの場合は早春が日当たり、夏は日陰となるような落葉樹の下などが適しています。鉢植えの場合、夏には鉢ごと木陰に埋め、乾燥させ過ぎないように管理しましょう。用土は水はけのよい腐植壤土を好みますが、植え付けは必ず 10 cm ぐらゐの深植えとします。繁殖は分球か実生によります。

属名のガランサスは、ギリシャ語の gala (乳) と anthos (花) に由来し、花の色にちなんで付けられました。スノードロップの名は、ヨーロッパの伝説で、アダムとイブが追われた時に降っていた雪に天使が触れたところ、雪がこの花に変わったことから名づけられたものといわれます。

## 4～5月の園芸講座・行事案内

### 市民園芸講座の内容紹介

#### ♣ ハンギング作りの基本

日時 4月 14日(日) 13:00～15:00

講師 月形コテージガーデン 梅木あゆみ さん 定員 40人 材料代 1500円



#### ♣ 楽しい家庭菜園作り I

日時 4月 21日(日) 13:00～15:00

講師 園芸研究家 横山 弘 さん 定員 40人 参加料 無料

#### ♣ 岩見沢公園の山野草を楽しもう

日時 5月 12日(日) 9:30～12:00

講師 山野草研究家 北本 毅 さん 定員 40人 参加料 無料

#### ♣ 楽しい家庭菜園作り II

日時 5月 12日(日) 13:00～15:00

講師 園芸研究家 横山 弘 さん 定員 40人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド(空知リゾートシティ株式会社)

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111 まで